



外国の旗を持った人があるけど、どこの国の旗かな。

外国の強さを知った長州藩は、このあとどうしたのかな。



中岡退助の古蹟 長州藩の下関砲台は、イギリスなど4か国の軍艦17せき、兵員5000人に攻撃され、占領されました。  
(神奈川県 横浜開港資料館蔵)



## 5. 江戸幕府の滅亡

▶ 尊王攘夷運動や倒幕運動は、何をめざしたものであったのでしょうか。

### 尊王攘夷運動の高まり

井伊直弼は、開国に反対した大名や公家を処罰したため、1860年、江戸城桜田門外で、水戸藩などの浪士に暗殺されました。1863年、幕府は、朝廷や大名の主張に動かされて、外国を排除する攘夷の命令を全国に出しました。これを受けて長州藩は、下関海峡を通る外国船を砲撃し、海峡を封鎖しました。

攘夷運動の高まりをおそれた幕府は、天皇や薩摩藩の支持を取りつけ、京都から急進派の公家や長州藩士を追放し、さらに翌年には、長州藩を攻めて屈服させました。

### 倒幕への動き

幕府が長州藩を攻める直前、イギリス・フランス・アメリカ・オランダの艦隊は、連合して長州藩に報復の攻撃を行い、下関砲台を占領しました。長州藩の木戸孝允らは、強い統一国家をつくる必要があることをさとりました。薩摩藩でも、西郷隆盛や大久保利通らが実権をにぎり、イギリスと結んで軍備を強化しました。薩摩藩と長州藩は、土佐藩出身の坂本竜馬のなかだちで同盟を結び、倒幕をめざすようになりました。

\*1 1862年、薩摩藩は、東海道の生麦村(横浜市)で行列を横切ったイギリス人を殺害し、翌年その報復を受け(薩英戦争)、攘夷が不可能であることを知りました。



④ ええじゃないか 1867年、伊勢神宮などのお札(右上)が天から降ってきたとあって、人々が「ええじゃないか」とはやしたてながらおどるさわぎが広がりました。(東京都 国文学研究資料館史料館蔵、お札は、三重県神宮徴古館農業館蔵)

## 大政奉還と 王政復古

\*2 1866年、幕府は、長州藩をふたたび攻めましたが、各地で敗れました。このころ、

全国で世直しを期待して一揆がおこり、1867年には、「ええじゃないか」といって人々が熱狂するさわぎが、各地で流行しました。

このような情勢のなかで、将軍となった徳川慶喜は、政権を朝廷に返しました。これを大政奉還といいます。こうして、約260年間続いた江戸幕府はたおれました。

薩摩藩の西郷隆盛や公家の岩倉具視らは、朝廷を動かして、王政復古の号令を発し、天皇を中心とする政治にもどすことを宣言しました。ついで、慶喜の影響力を除こうとして、徳川氏に対して領地の返上などを命じました。これを不満とした旧幕府軍は、1868年1月、新政府と戦争をおこしましたが、鳥羽・伏見(京都府南部)の戦いで敗れました。新政府は軍を進めて、江戸城を明けわたさせ、翌年には、旧幕府軍をすべて降伏させました。この戦争を戊辰戦争といいます。

\*2 幕府はフランスの援助を受け、軍備の立て直しをはかっていた。



④ 大政奉還 徳川慶喜が、京都の二条城で、幕臣らに政権返上の決意を伝えている場面です。(東京都 明治神宮聖徳記念絵画館蔵)

開国から戊辰戦争までのできごとを調べ、略年表にまとめてみましょう。